



新成人の皆さん、ありがとう

成人式で集めた義援金を寄付

東日本大震災の被災者を支援しようと、松前町成人式実行委員会は1月16日、成人式で集めた義援金を寄付しました。

これは、同委員会が成人式のテーマを「絆」として、新成人へ募金を呼び掛けたものです。

同委員会を代表して、実行委員長の後藤健二さん(徳丸)は、「東日本大震災で被災した方々へ届けてください」と10,671円を白石勝也町長へ手渡しました。この寄付は、えひめ愛顔(えがお)の助け合い基金へ送られました。



田中きよ美さんが人権擁護委員新任

1月1日付で委嘱



1月1日付で、田中きよ美さん(宗意原)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員は、私たちの身の回りの悩みごとなどの相談に応じます。定例の人権相談を次のとおり行っていますので、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

◆相談日 毎月25日(25日が土・日曜日、祝日のときは翌日または翌々日)

◆時間 10時～15時

◆場所 文化センター第2研修室

☎社会教育課人権教育係 ☎985-4137



④両町12人の子どもたちがエミフルMASAKIで記念撮影 ⑤まつまえ町の子どもたちは坊っちゃん列車に乗車し大興奮 ⑥砥部焼の絵付けに夢中



ようこそ松前町へ

まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道松前町の児童6人が12月26日から28日まで本町を訪れました。昨年7月には、当町の児童6人がまつまえ町を訪問し、松前漬けづくり、甲冑着付けなどを体験していました。児童は、「今度は愛媛ならではの体験してもらいたい」とまつまえ町の皆さんの訪問を楽しみにしていました。

今回当町を訪れたまつまえ町の児童は、昨年7月に行動を共にした6人ということで、松山空港で出迎えた児童らは、5カ月ぶりの再会に大喜び。奥道後での夕食会では、久々の再会に会話が途切れることなく、大いに盛り上がりました。

2日目には、両町の小学生12人で白石勝也町長を表敬訪問し、松前町を訪れての感想や、互いの文化の違いを話し合いました。その後、エミフルMASAKIに移動して、松前町の子どもたちの案内でショッピングを楽しみ、夕食をとりました。その他、松山城見学、砥部焼の絵付け体験、道後散策などを通じて、愛媛の文化に触れ、さまざまな体験を共有した子どもたち。今回の交流でさらに友情を深めていました。



寸劇で悪徳商法への注意促す

きたいよシニア大学消費生活に関する講演

町の消費生活相談を担当する武田咲枝さんの講演が1月10日、東公民館で開かれ、約50人が受講しました。

これは、きたいよシニア大学第7回の講座として企画されたもので、悪徳商法など消費生活に関する講演は、町として初めての試みです。

武田さんは、この日のために結成した「だまされ劇団」による寸劇を交えながら、悪徳業者の手法を詳しく解説。受講者に注意を呼び掛けました。

最後は、悪徳商法の被害を受けないようにとつくられた「消費生活かるた」を全員で音読し、意識を高めました。受講者の高藤邦昭さんは、「悪徳業者の手口がよく分かり、参考になりました。もっと詳しく知りたいと思いました」と話していました。

◆消費生活に関する情報を、毎月広報まさきのインフォメーションコーナー(今月は25ページ)に掲載しています。

④参加者全員で「消費生活かるた」を音読 ⑤講師を務めた武田咲枝さん ⑥だまされ劇団による寸劇を見て、参加者は理解を深めた



春の七草笑顔で味わう

神崎老人クラブの七草会

新年を元気に過ごそうと、神崎老人クラブの皆さんが、神崎集会所で七草がゆを味わいました。

七草がゆは春の七草(セリ、ナズナ、ゴキョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)をおかゆに入れたもので、その年の無病息災を祈って、1月7日に食べる風習があります。正月料理に疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという、昔の人の健康に対する知恵が生んだ風習です。

調理したのは婦人部の皆さん。七草は、前日に老人会役員の男性陣が、重信川河川敷などに採りに行ったものです。皆さんの協力によって、この日は約60人分の七草がゆが準備されました。

参加者は、春の七草がたっぷり入ったおかゆをおいしそうに食べながら、参加者同士で会話を楽しんでいました。



④「はいどうぞ」運ばれてくる七草がゆに思わずにっこり ⑤七草がゆを配ぜんする婦人部の皆さん ⑥七草がたっぷり入った七草がゆ ⑦団らんする皆さん

